

九鬼氏ゆかりの三田市と 友好都市宣言

企画財政課企画調整係 電話 251101

400年の時を超えて つながる鳥羽市と三田市

― 戦国時代に水軍の将として名を馳せた九鬼嘉隆は、志摩国の一勢力から大名にのしあがります。江戸時代に入り、子孫たちは家督相続をめぐる騒動を起こし、江戸幕府の意向で内陸の三田に移封され、およそ400年前、嘉隆の孫の久隆が初代三田藩主となりました。―

本市では、九鬼水軍の将として活躍した九鬼嘉隆の歴史を後世に継承していくため、鳥羽城三ノ丸広場の整備をはじめ、近年さまざまな取り組みが行われています。

一方、兵庫県三田市は、九鬼嘉隆の孫の久隆が鳥羽より移り住んで以来240年もの



三田市での調印式の様子
木田市長(左)と竹内英昭三田市長(右)

間、九鬼氏が三田藩を統治し、その城下町をもとに発展してきたまちであり、本市と同じく九鬼氏の歴史を生かしたまちづくりが進められています。

両市には、九鬼氏にまつわる共通した歴史文化や史跡など深い結びつきがあります。

平成11年ころから両市の民間団体を中心に、九鬼氏の歴史にちなんださまざまな交流が進められ、昨年度は三田市長をはじめとする三田市の代表団約50名が本市を訪れ、市民の交流会が実現しました。

この度、これまで培われてきた両市の理解と信頼をより一層深め、将来にわたる友好関係を築くとともに、両市の相互の繁栄に貢献することを目的とし、平成23年7月1日、鳥羽市と三田市は「友好都市宣言」を締結しました。



三田太鼓による「迎え太鼓」の演奏

友好都市宣言

三重県鳥羽市と兵庫県三田市とは、九鬼氏を中心とした歴史・文化において、深い結びつきがあることから、民間団体を中心に様々な交流を進めてきた。

今まで培ってきた相互の友好関係をより一層深め、その交流・友好の精神が次代を担う青少年の礎となり、両市の繁栄に貢献するものとするため、さらに絆を強めることに合意した。

鳥羽市と三田市は、互いの価値観を尊重しながら、歴史文化、スポーツ、教育、観光、防災など幅広い分野にわたり、末永く手を携えることにより、互いの理解と信頼を深めていくことを確認し、ここに友好都市として提携することを宣言する。